

JAPAN OUTDOOR LEADERS AWARD 2024

表彰式開催結果報告

日時: 2024年3月13日(水)16時00分~17時30分

会場: 国立オリンピック記念青少年総合センター 国際交流棟 第一ミーティングルーム

主催: JAPAN OUTDOOR LEADERS AWARD 運営委員会

協力: NPO 法人自然体験活動推進協議会

サポーター: ゴールドウイン株式会社、日本ゴア合同会社

パートナー: ARC 'TERYX、石井スポーツ、カシオ計算機株式会社、キャンパルジャパン株式会社、ココヘリ、SATOMACHI、秀岳荘、CHUMS、パタゴニア日本支社、株式会社前垣、株式会社モンベル、株式会社 UTSun

●内容

表彰式

16:10 開会挨拶 山田俊行(トヨタ白川郷自然学校 学校長)

サポーター、パートナー紹介

あいさつ 牛山和人(カシオ計算機株式会社 開発本部 事業イノベーションセンター)

JOLAのあゆみ、歴代ファイナリスト紹介、副賞の紹介

16:30 賞状授与

(1) 奨励賞(2名) ⇒ 野口和行(慶應義塾大学教授)授与

・花嶋 桃子(NPO 法人千葉自然学校職員/南房総市大房岬自然の家副所長:千葉県)

・岩野 萌 (NPO 法人ガイア自然学校/Chief Operating Officer:石川県)

(2) 優秀賞(6名) ⇒ 山田俊行(トヨタ白川郷自然学校 学校長)授与

・黍原 豊 (一般社団法人三陸駒舎共同創設者・理事:岩手県)

・武宮 敬介(自然体験村代表/日本ジョセササイズ協会南魚沼支部長:新潟県)

・川口 真矢(NPO 法人 Earth Communication 代表理事:静岡県)

・真野 博 (城西大学 教授/高麗川かわガール 代表:埼玉県)

・佐藤 伸幸(ヨロン島エコツアーガイド連絡協議会/与論島観光 エコツアーガイド 代表:
鹿児島県)

・鹿谷 麻夕(しかたに自然案内代表:沖縄県)

17:00 特別賞、大賞発表

(3) JOLA2024 特別賞(1名) ⇒山田俊行(トヨタ白川郷自然学校 学校長)授与

・鹿谷 麻夕(しかたに自然案内代表:沖縄県)

(4) JOLA2024 大賞賞(1名) ⇒山田俊行(トヨタ白川郷自然学校 学校長)授与

・黍原 豊 (一般社団法人三陸駒舎共同創設者・理事:岩手県)

17:20 選考委員 講評 野口和行(慶應義塾大学教授)

17:25 実行委員長あいさつ 山田俊行(トヨタ白川郷自然学校 学校長)

17:30 終了・記念撮影

祝賀会

日時: 2024年3月13日(水)18時00分~20時00分

会場: 国立オリンピック記念青少年総合センター 国際交流棟 レセプションホール



主催者挨拶 JOLA 運営委員長 山田俊之(トヨタ白川郷自然学校 学校長)

ご参列ありがとうございます。今朝、雪の白川郷を出てきたので、長靴で登壇するところでした。

この度はファイナリストの皆さん、奨励賞の皆さま、受賞おめでとうございます。パートナー、サポーターの企業の皆さん、ありがとうございます。選考委員、アドバイザーの皆さん、ありがとうございます。

JOLAは、ソーシャル・アウトドアをキーワードにしています。最近のAIやICTの技術が発達しており、この流れは止まらないでしょう。使えば使うほど、リアルな体験の時間が奪われることになります。リアルな体験とは五感と喜怒哀楽であり、これらを子ども達に残すことが必要です。補完システムや社会システムとして、自然体験活動を捉えることができます。いわば、自然体験活動は現代の処方薬です。その最前線にいるのが受賞された皆さまです。今後も社会を支える活動を続けてください。



サポーター、パートナー紹介



あいさつ

牛山和人(カシオ計算機株式会社
開発本部 事業イノベーションセンター)

JOLA2024 奨励賞授与 2 名



花嶋 桃子 (NPO 法人千葉自然学校/
南房総市大房岬自然の家副所長・千葉)

花嶋桃子さん 奨励賞受賞コメント

今回たくさんの人にお祝いいただき、嬉しい気持ちでいっぱいです。特に、大学2年生の時に出会い、自然体験活動を教えてくださった原田順一さん、上司である神保清さんの前で受賞できるのが嬉しいです。

エントリーシートを書く中で、いろいろと出来事や人、笑顔を思い出しました。今回の奨励賞は、これまで良く頑張った、そしてこれからも頑張れということでした。困った時には賞を励みに頑張ります。



岩野 萌 (NPO 法人ガイア自然学校/
Chief Operating Officer : 石川県)

岩野萌さん 奨励賞受賞コメント

職場では本名ではなくチャーハンと呼ばれており、人生の半分はこの名前で呼ばれています。国立室戸青少年自然の家で法人ボランティアをし、その後ガイア自然学校で働いています。

キャンプが好きです。それは、自然のミラクルにふれることができ、それらを一緒に過ごす人と共有できるからです。職場では森のようちえんを担当しています。今日もオンラインで子ども達が参加しています。奨励賞を励みにこれからも頑張っていきます。

JOLA2024 優秀賞授与(6名) ⇒ 山田俊行(トヨタ白川郷自然学校 学校長)授与



黍原 豊 (一般社団法人三陸駒舎
共同創設者・理事：岩手県)

黍原豊さん 優秀賞受賞コメント

普段、釜石市でウマ3頭と暮らし、子どものセラピーをしています。ウマを介しているいろいろな出会いをしており、自分自身もその中で成長してきました。エントリーシートを書く中でこれまでの活動をふりかえることができ、出会った人々へ感謝をしています。

三陸駒舎には、苦しい立場の子ども達が来ていますが、人間ではできないことが、ウマのおかげでできていることがあります。今後も自分の経験を伝えていきたいと考えています。



武宮 敬介 (自然体験村代表/日本ジョセササイズ協会南魚沼支部長：新潟県)

武宮敬介さん 優秀賞受賞コメント

自分の活動をふりかえる良い機会と言われ、これまで複数回エントリーをしています。当初はエントリーシートが46ページになりましたが、翌年から枚数制限されるようになりました(笑い)1年に1回ふりかえり、翌年の活動につなげています。

移住して新潟県で活動しています。プログラム開発しているというよりは、地域で行われたことを取り上げています。南魚沼が表彰されたと思っています。地域の人々に伝えていきます。



川口 眞矢 (NPO 法人 Earth
Communication 代表理事：静岡県)

川口眞矢さん 優秀賞受賞コメント

港町、そして田舎町で活動していますが、いろいろ悩みながら実践してきました。

現在では、自治体の皆さんなどと協働することができており、アマモの保全にも取り組んでいます。

今回、エントリーシートを書くことが自身の活動のふりかえりになりました。良く諦めなかったと実感することもできました。選んでいただいたことが嬉しいです。これからたいへんなことがあると思いますが、受賞を糧にして頑張ります。



眞野 博 (城西大学 教授/高麗川かわ
わガール 代表：埼玉県)

眞野博さん 優秀賞受賞コメント

所属は箱根駅伝総合3位の城西大学です。男子駅伝部長をしています。また、「高麗川かわガール」という団体で環境教育と食育に関する活動をしています。さらに、自分の専門である食品学の中でも、食育と環境教育に取り組んでいます。

たまたま川で出会って以降、投網の師匠として師事していた方が昨年亡くなりました。今回の受賞の喜びとお礼を師匠に伝えたいと思います。



佐藤 伸幸（ヨロン島エコツアーガイド連絡協議会/与論島観光 エコツアーガイド 代表：鹿児島県）

佐藤伸幸さん 優秀賞受賞コメント

与論島から飛行機を乗り継いでやって来ました。国内外で仕事をしてきましたが、体調を崩し、与論島に旅行に出かけたことがきっかけで移住しました。奄

美群島国立公園は、自然と人との営みが評価された国立公園で、ライフスタイルが全てアウトドアです。

移住した時に感じた驚きを伝えるガイドをしています。これまで地域に育ててもらいました。受賞を機会にもう一步先に進みたいです。そして、支えてくれた妻に感謝します。



鹿谷 麻夕（しかたに自然案内代表：沖縄県）

鹿谷麻夕さん 優秀賞受賞コメント

沖縄を舞台に夫とチームで環境教育に取り組んでいます。科学の視点で変化する沖縄の海を伝えています。実は沖縄では海を学ぶ機会が少ないこともあり、海の環境教育に2003年から取り組んでいます。

自分ではアウトドアではなく、環境教育をしている認識でした。エントリーすることで、学校への支援もアウトドアになるという視点を知ってもらえると考えました。そして、環境教育をしている人にもエントリーして欲しいと思います。

JOLA2024 特別賞



JOLA2024 特別賞 鹿谷 麻夕(しかたに自然案内代表:沖縄県)



鹿谷麻夕さん 特別賞受賞コメント

これまでやって来たことを評価いただき嬉しいです。1993年に沖縄に行きましたが、この時世界的なサンゴの白化がありました。浅瀬の9割のサンゴが死んだと言われ、学生の時に学んだ生物も9割死んだと捉えています。

これを契機に、研究している場合ではない、守らなくてはいけないという認識となり、伝える活動をするようになりました。今回20年をふりかえることで、できたことと併せてやれていないことも浮き彫りになりました。今後は伝える人を増やしたいと考えています。問題に目を向けるとしんどくなりますが、未来に目を向けて子ども達と向き合いたいです。50年後100年後に自然を戻せることを伝えています。ぜひ今後も力を貸してください。

JOLA2024 大賞



JOLA2024 大賞 黍原 豊 (一般社団法人三陸駒舎共同創設者・理事:岩手県)



黍原豊さん 大賞受賞コメント

いただけるとは思っていませんでした。妻に支えられてきました。家族に感謝したい気持ちです。

1人の男の子のエピソードをお話します。この子は、第1号で三陸駒舎に来てくれました。当時は小学生で今は高校生です。コミュニケーションが苦手な子でしたが、ソーシャルワーカーの紹介でやって来ました。当初はエネルギーをうまく使えないことがありましたが、次第にいろいろな活動をするようになりました。親御さんからは、息子は自閉症で遊べないと思っていましたが、三駒さんは障がいを忘れさせてくれるという手紙をもらいました。ウマや自然は平等に接してくれます。差別を取り去ってくれます。今は戦争や格差がある社会ですが、ソーシャル・アウトドアで社会を解決できることができると考えています。多くの人に感謝しています。



ファイナリストとオンライン参加者で記念撮影



JOLA2024 表彰式参加者と記念撮影



JOLA2024 受賞者記念撮影

左から

- ・【優秀賞】佐藤 伸幸(ヨロン島エコツアーガイド連絡協議会/与論島観光 エコツアーガイド 代表:鹿児島県)
- ・【優秀賞】川口 眞矢(NPO 法人 Earth Communication 代表理事:静岡県)
- ・【優秀賞】武宮 敬介(自然体験村代表/日本ジョセササイズ協会南魚沼支部長:新潟県)
- ・【優秀賞】鹿谷 麻夕(しかたに自然案内代表:沖縄県)
- ・【大賞】黍原 豊 (一般社団法人三陸駒舎共同創設者・理事:岩手県)
- ・【優秀賞】真野 博 (城西大学 教授/高麗川かわガール 代表:埼玉県)
- ・【奨励賞】岩野 萌 (NPO 法人ガイア自然学校/Chief Operating Officer:石川県)
- ・【奨励賞】花嶋 桃子(NPO 法人千葉自然学校職員/南房総市大房岬自然の家副所長:千葉県)

JOLA2024 総括 ~選考にあたって~

Message from the selection committee



2024年のアワードは、北海道から沖縄まで、全国から51名のエントリーがありました。
下記の流れで審査及び最終選考を行いました。

一次審査

- 1 1名のエントリーに対して、運営委員から3名を選出し、JOLAルーブリックの各項目について5点満点で審査を行いました。
- 2 運営委員会で、3名の審査得点の合計点で高い得点を得た9名を選出しました。
- 3 今後特に活躍が期待される上位2名を選出しました。

最終選考

- 1 今後活躍が期待される2名のノミネートをそのまま奨励賞として選出しました。
- 2 ノミネート9名のうち、6名を優秀賞として選出しました。
- 3 優秀賞の中から、大賞1名、特別賞1名を選出しました。



2024
JOLA AWARDS
大賞
Kibehara Yutaka
一般社団法人三陸動物共済創設者・理事長

留学農業石巻の園100年を越える老農家をベースに、馬とのかかわりを半歩とした人づくりを推進。馬とのやり取りを通して、自分自身を見つめ、成長を促していく。馬と自然との暮らしから、人間としての立ち作りを軸を置いているその姿勢、考え方や哲学、地域とのかかわりがJOLAの理念にも重なり合っていると考え、大賞に選出いたしました。



2024
JOLA AWARDS
特別賞
Shikata Mitsu
しかたに自然案内 代表

沖縄の地で、「美しく豊かで暖やかな海を次世代に譲っていく」ために、自然観察会をベースとした環境教育の取り組みを推進し続けている御存さん。専門的な知識に裏付けられた実の深い活動、ポスターなど地域に寄り添い、地域の人や自身が環境保全のアクションを起こしていくことを支える姿勢は高く評価されるものであり、特別賞に選出いたしました。



2024
JOLA AWARDS
優秀賞
Takemitsu Keisuke
自然体験村代表/日本ジョセササイズ協会北海道支部長

新潟県高田市における、自然体験キャンプの運営。学生ボランティアのコミュニティ運営、ネットワークを活かした学生の育成活動、それぞれの活動の「継続性」や「影響力」を評価いたしました。また、継続性や影響力に繋がる「キャラクター」「発信の独自性」を評価し、優秀賞に選出いたしました。



2024
JOLA AWARDS
優秀賞
Kawaguchi Mitsuya
NPO法人Earth Connection 代表理事

静岡県御前崎市で自然体験とさまざまな地域資源の組み合わせで、子どもたちの体験の機会を充実。「自然体験活動で人を育てる」が大きな目標とされている。現在は御前崎市、静岡県、国土地交通省等と一緒に海や山での活動を実施。地域のつながりを大切に人づくりの場を創出していくその姿勢と継続性がJOLAの理念に合致すると考え優秀賞に選出いたしました。



2024
JOLA AWARDS
優秀賞
Masuo Hiroshi
城西大学 教員/高麗川かわがわ代表

埼玉県を流れる高麗川を中心に荒川水系の河川を源流とし、優秀な女性を育て、川流、リバーウォッシング、ネイチャーウォッチングの体験を通じて環境教育と食育を実現している、アカアミッタを通じて、自然を大切にする地域連携、大学、「コラボレーション力」と自らおっしゃっている「巻き込み力」が真野さんの大きな強みと見え、優秀賞に選出いたしました。



2024
JOLA AWARDS
優秀賞
Sato Naohiro
ワロンズエコツアーガイド高級協議会 会長/観光エコツアーガイド 代表

鹿児島県薩摩川内郡において、島の伝統文化を伝え、人と自然の間わりを見つめ直すガイドを続ける佐藤さん。その、「活動から学ぶ実践」「世代、考え、価値観の違いに向き合い、地域の仲間と関係を創り続けるプロセス」が、JOLAの価値観と強く響くと見え、優秀賞に選出いたしました。



2024
JOLA AWARDS
奨励賞
Hanashima Momoko
NPO法人千葉自然学校校長/南房総市大原野自然の森副校長

自然学校の職員、青少年教育施設の副校長として、「人づくり」を「継続づくり」、「地域づくり」に真摯に向き合い、ていねいに実践を積み重ねています。これからの活躍が大切に期待される人物として奨励賞に選出いたしました。



2024
JOLA AWARDS
奨励賞
Iwano Momo
NPO法人ダイア自然学校 Chief Operating Officer

ダイア自然学校で活躍する若手リーダーの岩野さんは、「キャンプリーダー」という存在が大好きだと嬉しい感性で、夢のキャンパーをくまなく捉えた企画シートを作成。この夢のキャンパーとアウトドアの場を見つめる視点、言葉からあふれる情熱と感性が高く評価されました。15年の活動を経てまだまだ若く、今後も輝きに活躍される人材として奨励賞に選出いたしました。